

低濃度 PCB 含有廃棄物に関するクロスチェック (第 4 回、第 5 回)

○高橋厚¹, 横堀尚之², 嶽盛公昭³, 豊田邦孝⁴, 林敏夫⁵, 石井善昭⁶

(一般社団法人 日本環境測定分析協会 極微量物質研究会,¹いであ,²住化分析センター,³島津テクニサーチ,⁴東北緑化環境保全,⁵環境総合サーチ,⁶環境管理センター)

【はじめに】

(一社)日本環境測定分析協会 極微量物質研究会では、分析精度の向上に資することを目的に外部精度管理の一環として、2016 年から継続して低濃度 PCB 含有廃棄物のクロスチェックを企画している。本発表では、第 4 回の金属くず表面抽出、第 5 回の金属表面ふき取りの結果に関して、測定結果の報告があった全データにおける解析・評価結果について報告する。

【方法】

本クロスチェックでは、低濃度の PCB が付着した金属を想定し、油種 (PCB 組成) が JIS1 種 (KC-300 を想定) の絶縁油を希釈・調製して金属容器 (金属蓋付) に一定量添加した。試料は 2 濃度区設定して調製後、ドラフト内で数時間溶媒を揮散させ、密封して参加者に配付した。

【結果と考察】

試料ごとの統計解析結果を図 1 に示す。その結果、いずれの濃度区ともに設定濃度とおおむね一致しており、棄却後のロバスト変動係数は、15~28%、 $|z| \geq 3$ の割合は 0~9%と比較的良好な結果であった。また、MS 測定値は ECD 測定値より高めの結果となる傾向がみられた。

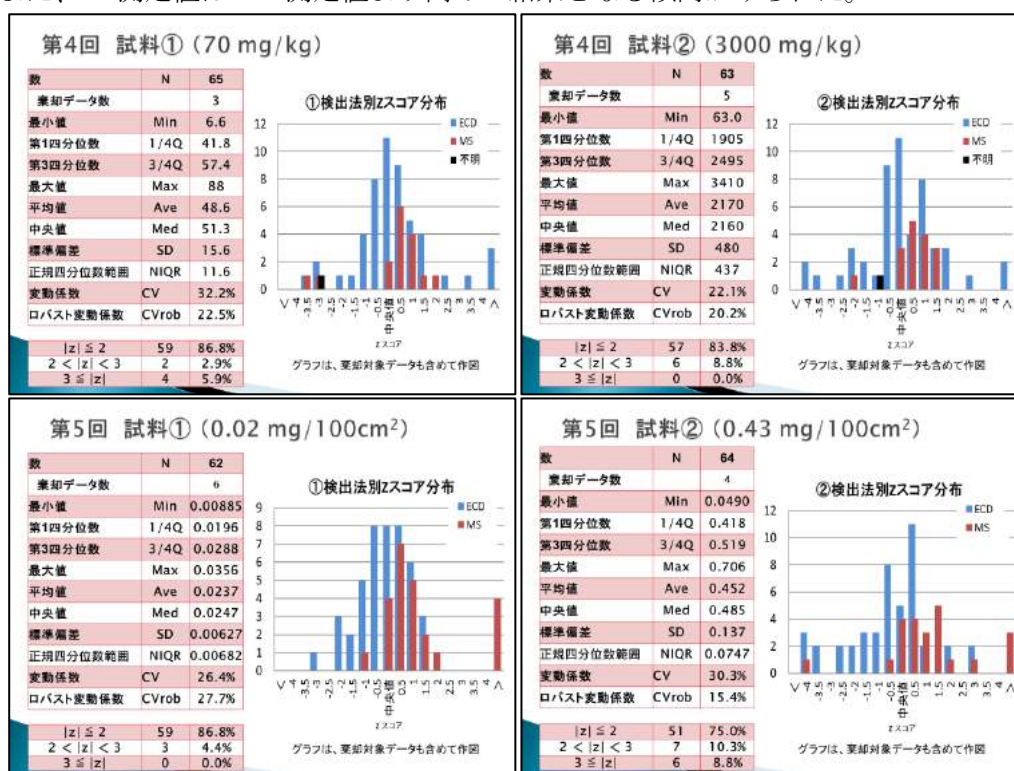


Fig.1 Statistical analysis results for each sample.

Inter-laboratory cross-check on the analysis of PCBs in the waste material containing the low concentration PCB (4th and 5th round) : Atsushi Takahashi, Naoyuki Yokobori, Hiroaki Takemori, Kunitaka Toyota, Toshio Hayashi, Yoshiaki Ishii
tatsushi@ideacon.co.jp; 1334-5, Riemon, Yaizu, Shizuoka, Japan 421-0212